



支那單語  
毛皮の衣は皮衣服でビ  
ーイーフ、縮入のこ  
は綿衣服でミエーイー  
フ、單衣のこは單衣  
服でタビーイーフ、羽織  
は馬掛兎と稱してマー  
コアル、ゾボンのこと  
をクワツと呼んでゐる

### 輪王寺宮御假泊の 遺蹟記念碑除幕式

昨廿五日泉村と平市に於て  
貴賓嚴官の參列で嚴かに  
豫算不足でお流  
管の澤の側溝

輪王寺宮東北御下向の御假泊  
假泊遊された遺蹟である石城  
郡泉村の玉露と平市高月の兩  
所に故宮殿下の第三王子小松  
侯爵の揮毫を請ひ記念碑を建  
てられたことは廣報の如くこ  
の除幕式は昨二十五日午前十  
時泉村、午後二時平市に於て  
各執行されたが式には小松侯  
爵をはじめ北白川宮附宮内事  
務官武田勝藏氏、小松侯家令  
小森吉助少將、右建碑せる御  
遺蹟保存會の安藤、木多、白  
川各子爵その他、地方會でな  
き貴賓嚴官の列席並に地元の  
官公署學校その他多數の參列  
あり平市は午後三時厳かに式  
を終了したが小松侯爵は式後  
少憩、警城中學校生徒の爲め  
一場の訓示を與へられて六時  
半平發列車で歸京された

### 時局講演大當り 聽衆千名の盛會

星代議士の特色によつて郷土  
石城郡青年から撰まれる時局  
講習會同窓生の日進會主催時  
局講演會は昨二十四日午後  
七時から平市公會堂に於て催  
され定刻會長星秀夫氏の開辭  
に次いで會員、

### 石城菜種の出廻り

昨年より十六日早い  
相場は昨年より稍高

石城菜種の初出廻りは去る二  
十三日農檢四倉出張所で檢査  
されたが品種は洋種で大浦  
村の生産、等級は等外、右初  
出荷は二俵で品質稍不良、乾  
燥は普通の下、調製稍不良と  
云ふところ質を落した原因は  
幾分早刈の傾向あつた爲め  
其の一つで昨年より十六日早  
い收穫である尚ほ一般の作物

### 戦地の便り

断然使命の爲め  
命を投げ出して

春の初めの櫻花を見ずに故  
郷を後にして征途につき戦  
線の軍隊生活に恰度一年、  
思ひ出のその月のその日を  
迎ひました、男子の本懐に  
感激の胸を躍らせながら盡  
忠奉國を誓つて首途してか  
らは例へば幾年か、うらとも  
やがては輝く大東亞建設の  
爲めに邁進いたし朗らかな  
其の日を迎ふるまで断然そ

### 精勤章を貰ひました

平市一丁目出身 武田 禮治  
謹啓、初夏の候皆々様には  
益々御健勝にて平市の發展  
の爲め御努力あらせられる  
由誠に感謝に堪えず御喜び  
申上げます、降て小生も御  
蔭様にて元氣で軍務に精勤  
致して居りますから他事な  
がら御安心下さい、皆様の  
御蔭を以て小兵も六月一日

### 滿支の視察から(一)

六月十九日快晴  
愈々滿州移民状況視察、皇  
軍慰問、防務關係視察に滿  
州、北支、中支へ出發の日  
午前八時半平發出發多數の  
御見送りを受け自動車にて  
に堪えない、木村先生、中  
野中佐、鈴木光吉氏、坂本  
浩氏、山田隆慶氏、野澤氏  
同車し賑やかに談笑の裡に  
郡山驛着、木村先生、中野  
中佐、坂本氏と別れ正午新  
潟行列車の中となる、  
縣農會長大島氏若松氏同車  
色々話の花を咲かせ退

### 輪王寺宮御假泊 遺蹟建碑趣意

發起者並に建碑委員、平市  
藩士(平安會會長)青沼錦太郎  
平陽女學校校長酒井精次、警  
城中學校同窓會會長關内正一  
前平在郷軍人分會長山崎眞  
三郎、舊藩士多田井笑次  
郎、同山田啓慶、飯野八幡

### 漸く閑散

四倉驛市場は去る二十四、五  
日共に出廻りなく今二十六日  
も閑散であつたが出荷終期に  
尚ほ多少の取引を見込まれる  
上に既取引の乾鰯が早くて今  
月一杯を要するので此の乾鰯  
終了までは出廻りの取扱ひを  
なすと

### 小名濱で 常習の賭博

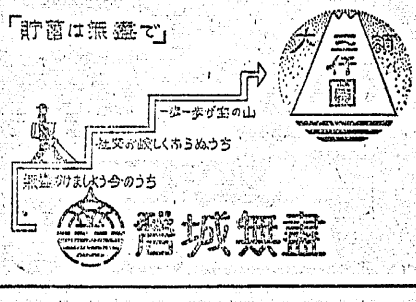
小名濱町の中坪四七鈴木よて  
方に於て去る二十四日午後三  
時頃同町賭博常習前科三犯若  
松吉吉(外六名が六百圓)  
及び(と)と(と)と稱する一回  
五十圓乃至一圓賭けの花札合  
戦真最中へ野地、荒雨刑事に  
踏み込まれ二名は風をくつて  
逃走したが其の他を逮捕尚ほ  
逃れたものは氏名が判つてゐ  
ることは趣意書にて既知な  
るべく又本會學式當時に頒  
布すべき記念小誌の本文御  
年譜は特に同氏に依りて  
宮家、小松侯家等首め奉  
り、宮内圖書寮の皇室史料  
帝大史料編纂所並びに文部  
省の各維新史料、外に舊警  
城三藩士等の當時の日記等  
をも考査して從來刊行の最  
も誤り多き能久親王御年譜  
より更に嚴密なる修訂を費  
して、目下編輯中なり、

### 遺家族の田植

石城郡神谷村の國防婦人會員  
及び青年團の勞力奉仕班では  
明二十七日同村出征勇士の遺  
家族家庭に對し一齊に出動し  
て田植をなすと

### 双中警中平商の 野球戦

警中、平商、双中の野球戦は  
昨二十五日双中の遠征を受け  
て警中球場に合戦を開始し午  
後からの降雨を物ともせず五  
時過ぎまで決戦した結果は警  
中對双中は三對二で平商對双  
中は三對二で何れも双葉が借  
取した



本會代表者建碑委員長(平  
方部)青沼錦太郎、(泉方  
部)江尻博孝、  
(附記)本會成立は固より本  
旨の提議者にて、又御遺蹟  
の考證をもなせる日本勤王  
史學會理事諸根一氏に據

# 農業の機械化

## 今や轉換期

労働力の不足に  
經營の合理化も  
また電動機に於ては六萬六千七百十八台でこれも同じく四二%の激増である(以上何れも營業用を除く)しかして普及成績の最も盛んであると云はれる岡山縣では動力原動機(一台當り農家戸数は八戸、耕作水田面積は四町九反で新潟その他の主要耕作縣でも一〇一三戸、七一〇町と云ふ數字を示してゐる、

機械化された兩縣(農事組合が漸次利用)

秋田では昨年春は僅かに二三台しかなくつた小型自働耕機(トラクター)が今春の農耕期に入つて縣下に二十餘台入り、人馬努力の不足を機械利用によつて克服し生産力の維持擴充につとめ、秋後農業經營を確保してゐる、トラクター使用者の多くは個人的に購入してゐるので詳細は不明だが縣農事試験場技手の調査によれば、

平鹿郡山内 榮 境町▲由利郡子吉 北内越 象潟▲南秋田郡下新城 金足 下井河▲北秋田郡釋迦内 澤口等

に多く使用され耕作面積多く勞力不足の農業者が個人的に使用してゐるものが多いが、釋迦内村その他では農事實行組合が漸次利用しつつあり、また村の統後々授合が縣の助成を得て購入し應召農家に使用させてゐるところもある、トラクターの耕転率は一反歩一時間半で充分である、

スペイン G.H.N 元詰

## ゴルフポートワイン

甘味葡萄酒

御婦人の方には少し水を加へて召し上ると風味一そう佳良です

(平二) 西村屋藥舖 (電三)

肉の御用命は

# 三三三屋

## 牛も豚も優良品の自慢

# お醤油は

醤油、味噌、たひら正宗、鮮節食料品

# ヤマフル

明治生命醫城代理店

山崎與三郎

電話 本業部二七〇番 店部二七〇番

# 山崎合名會社

産科婦人科 院長 木村寅次郎

外科 醫學博士 内木宗八

藥局 藥劑師 大岩俊雄

## 入院隨意 木村病院

病室完備 平市新川町九一 電話一六四番

## 涼味を、る

### 夏物洋品愈々進出

スマートなカンカン帽子  
可愛らしい...お子様帽子  
婦人・子供清涼着  
その他 色々陳列

## つるや 平電140

平田町(三丁目裏川岸通)  
**明雲堂眼科醫院**  
電話六六九番  
入院應需(自炊の便あり)

今般、醫學士土井利明氏を副院長として招聘し  
内科、小兒科の診療に従事せしむ

**平病院** (平市元共済病院跡)  
電話六四一番

院長 醫學博士 鈴木定藏

内科 院長 鈴木定藏  
小兒科 副院長 土井利明  
皮膚泌尿科 副院長 高橋俊幸  
物理療法科 院長 鈴木定藏

藥劑科 部長 吉本孝平

診療時間 毎日午前八時より午後九時まで  
夜間診療に從来す(急患は此の限りにあらず)

和洋銅鐵、金物問屋

## 店商屋蓋

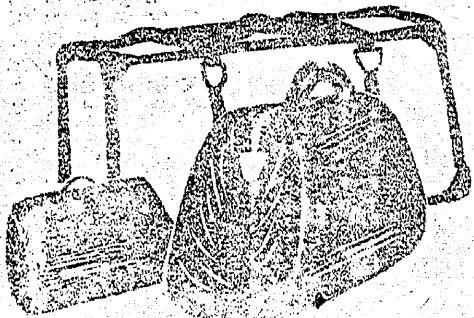
九九・九番

病室増築、手術室完備

産科 醫學博士  
婦人科 **五十嵐雄二**

平市新川町一 電話三六九番

## 類品洋とンバカ



(話電六) 屋砂真 (新市平) (り通道新)

諸妻下の大妙藥

**安流丸**

持山野邊製藥所

債券、公債  
両替、金融

**多田井質店**

平市大工町 電話五九一番

診療科目

一、齒科一般  
保存科、補綴科、鑲牙工科、齒列矯正科、小兒科、齒槽膿漏科、一、口腔外科  
一、レントゲン科

平市田町(松月堂向ヒ)

## 中野齒科醫院

院長 日本齒科醫學士 中野憲次  
日本級學士 藤谷伍郎  
部主任 佐藤重義

電話五〇九番